

## 7-2 下関市における地域公共交通活性化・再生総合事業

### 下関市地域公共交通総合連携計画の目標

合併前の菊川、豊田、豊浦、豊北町地域では、住民の移動手段を確保するため、それぞれ生活バスが運行されていたが、地域によって運行の態様等様々であったため、バス交通の制度について見直しを行い、サービス水準を統一し、地域間における公平性を図るとともに、地域の状況にあった移動手段を確保する。

### 20年度事業の実施状況

#### 1. 事業の内容

##### 1) 地域内バス交通の実証運行

路線、運行頻度、料金体系等、制度の統一を目指した見直しによる実証運行。

- 菊川、豊田、豊北町地域にて実証運行の実施
- 一部地域でデマンドバスを導入
- 各地域内のほか、合併前の行政区界を越えて運行する路線の設定
- 系統数: 13本(うちデマンド5本)
- 運賃: 距離制 

H20: 上限400円
H21: 上限500円
H22: 上限なし
- 運行事業者: ブルーライン交通(株)、富士第一交通(株)、豊田タクシー(有)、(有)西市観光タクシー、(有)神田タクシー

### 下関市地域公共交通活性化協議会

下関市、下関市連合自治会、サンデン交通(株)、ブルーライン交通(株)、下関タクシー協会、西日本旅客鉄道(株)、中国運輸局山口運輸支局、下関警察署、山口県下関土木建築事務所、学識経験者

【事務局】下関市交通政策課内 083-231-1481

##### 2) 路線バス再編と実証運行

路線バスの利便性向上を目指した路線の再編。

- 運行ルート  
川棚温泉～豊浦病院・大河内温泉～川棚温泉



## 2. プロセス、創意工夫

### 1) 地域内バス交通の実証運行

- 路線、運行頻度、料金体系等、制度の統一を目指した見直しによる実証運行を行う。
- 一部地域で新たにデマンド運行を導入。
- 合併前の旧行政区界を越えて運行する路線を設定。
- 広報活動として、住民説明会やチラシ・時刻表の配布、オフトークなどを活用。

### 2) 路線バス再編と実証運行

- 国道を中心に、みなし4条バス路線と自家用有償運送路線が重複していたため、これを整理し統合。

循環線(川棚～宇賀本郷～横道)

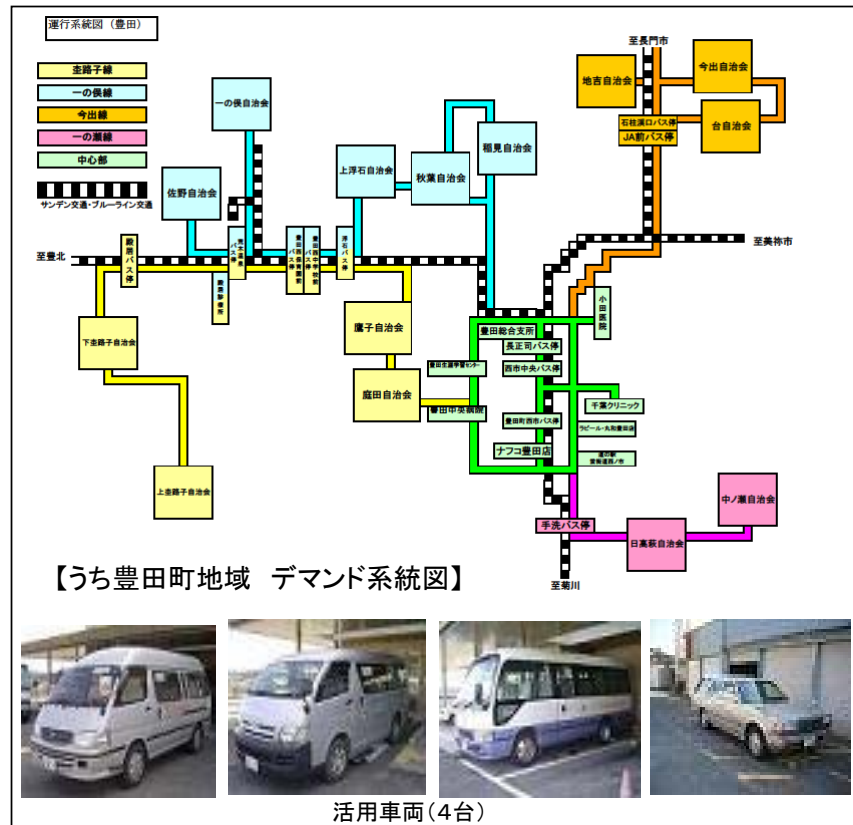
- 実証運行の広報活動として、時刻表の作成配布やステッカーによる車両表示を行う。

### 【ComPASS・ComMASSの活用】

計画策定時における検討に際し、中国運輸局で開発された、支援ソフト「ComPASS」「ComMASS」を利用し、計画検討に活用した。

## 3. 事業費等(単位:千円)

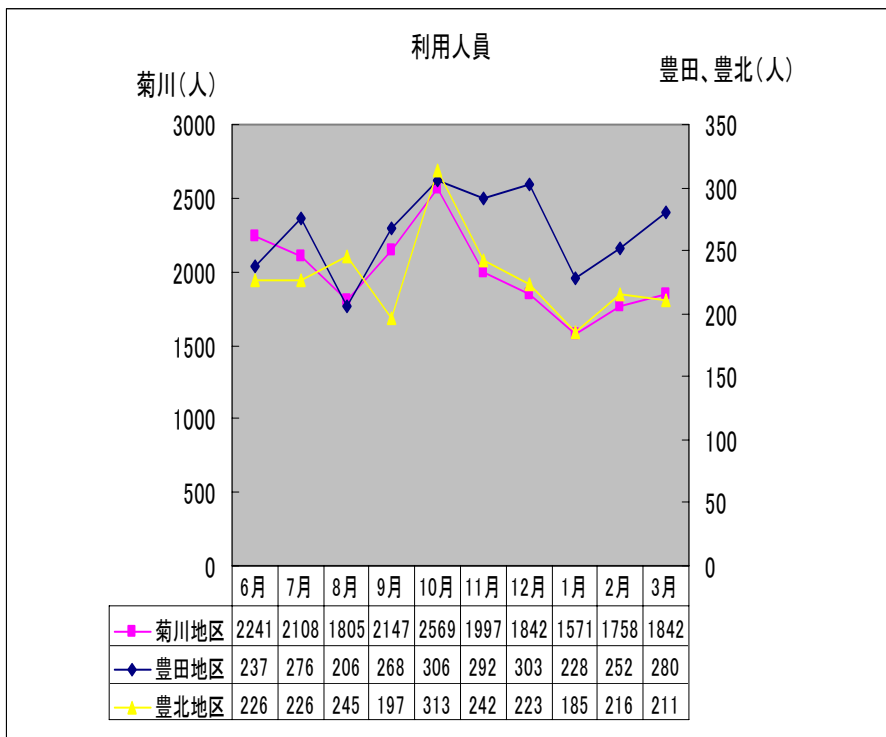
■総事業費	45,300	●運賃収入	5,547
		●市負担額	23,189
		●総合事業費補助金	16,564



実証運行PRのための、ステッカーによる車両表示



#### 4. 利用実績



#### 5. 事業実施効果

##### 1) 地域内バス交通の実証運行

- 住民などからの要望の高かった、合併前の行政区を越えて運行する路線を設定したことにより、市域の東西を結ぶ、地域間の移動手段を確保することができた。
- デマンドバスの運行を実施し、利用者の利便性及び運行の効率化を図ることができた。
- 使用料について、距離制料金に統一したことで、各地域間における料金面での公平性を図ることができた。

##### 2) 路線バスの再編と実証運行

- 路線の再編により、「川棚～宇賀本郷～横道」間を循環線とすることで運行便に関係なく利用しやすくなった。
- これまで総合病院利用者については、バス停が遠く離れていたが、路線の再編により、新たに総合病院へ乗り入れることとしたことで、利用者の利便性を高める事ができた。

#### 6. 今後の課題

- 住民への周知、利用促進のため、広報活動に更に力を入れる
- 実証運行の実績やアンケート等による計画の見直し
- 本格運行に向けた利用者の安定的な確保

##### 21・22年度の事業予定

1. 地域内バス交通の実証運行 ……平成21年度
2. 地域内バス交通の本格運行に  
伴う施設整備等(車両の購入) ……平成22年度
3. 乗合タクシー実証運行 ……平成21・22年度
4. 路線バス再編と実証運行 ……平成21・22年度